

昭和三十三年七月二十五日  
第四回臨時會々議錄





昭和三十三年館山市議会才四回臨時会公議録

一 昭和三十三年七月二十五日午後一時館山市議会才四回臨時会を館山市役所分館会議室に招集

一 出席議員(三十五名)

一番	石井 潔	二番	高橋 文治
三番	伊勢山 之助	四番	小浜 光義
五番	後藤 伸之	六番	秋山 万次
七番	鈴木 市蔵	八番	金木 久一
九番	安西 政治	一〇番	田中 録郎
二番	脇田 順一	三番	吉田 勇治郎
三番	小沢 太助	四番	中村 良五
五番	小谷 照遠	六番	田村 喜兵衛
七番	嶋 貴江作	八番	佐久間 爲次郎
九番	黒川 佐太郎	一〇番	山口 房治



二番 荻生田七郎

二番 小沢恵太郎

三番 福田保徳

二番 山本 昇

二番 松本藤太郎

二番 可世木芳蔵

二番 鈴木 孝

二番 山口 康

二番 遠山ヨネ子

二番 磯辺周雄

三番 大野清五郎

三番 望月暉作

三番 田中忠蔵

三番 飯田義男

三番 嶋田 繁

一欠席議員 方し

一法正二四三十一季によつて出席説明員

市長

田村利男

町役

小出武男

収入役代理

眞田森吉

総務課長

完戸 貴



商工小産課長

吉田耕一

建設課長

新井重助

農産統計課長

高木哲三

戸籍課長

伊藤幸太郎

税務第一課長

黒野芳雄

税務第二課長

山口 実

秘書課長代理

小倉澄男

保険課長代理

渡辺 茂

選管事務所長

岡崎 実吉

福祉事務所長

長谷川 広治

診療所事務長

池田 亮山

監査委員

奥 武夫

消防署長

安藤 竜吉

教育委員会教育長

工藤 和平



常任委員会委員長 鶴沢寛覚

常任委員会庶務員 松本久

一本議会の事務司長あよび書記

事務司長 高梨清一

書記 太田博雄

同 真田幸男

嘱託 畑中弘敬

昭和三十三年第四回館山市議会臨時会議事日程

昭和三十三年七月二十五日午後一時開議

日程第一 報告第一号 昭和三十三年度七月創月検査報告

第二号 監査報告について

日程第二 請願書（新井楠見地区下水清改修）

日程第三 臨時出席検査立会議員の互選について

日程第四 議案第八号 農業委員会委員の推薦について



日程第五議案第七号 元寇峠修養病舎の一部を処分するに付いて。

日程第六議案第七号 市有土地の貸付に付いて。

日程第七議案第八号 市有財産の処分について。

日程第八議案第九号 消防用短波無線電話を設置購入に付いて。

日程第九議案第十号 国民健康保険運出母議会本委員選任について。

日程第十議案第十一号 館山市文化財保護条例制定について。

日程第十一議案第十二号 館山市職員定数条例の一部を改正するに付いて。

議案第十六号 館山市職員給与条例の一部を改正するに付いて。

議案第十六号 館山市職員等の旅費に関する条例の一部を改正するに付いて。

二二

日程十二議案第十六号 館山市教育長の請負にあつた勤務条件等に関する

条例の一部を改正するに付いて。

議案第十七号 館山市公民館条例の一部を改正するに付いて。

議案第十八号 館山市図書館条例の一部を改正するに付いて。



議案ナリナリ 館山市社会教育委員に関する条例の一部を改正す

るに付て

議案ナリナリ 館山市長 助役は入役の給与および旅費に関する条

例ナリ

例の一部を改正するに付て

議案ナリナリ 非常勤の特別職の職員に係る報酬および費用弁償に

関する条例の一部を改正するに付て

議案ナリナリ 館山市職員の被服等費に関する条例の一部を改正するに付て

議案ナリナリ 館山市職員の退職手当に関する条例の一部を改正するに付て

議案ナリナリ 昭和三十二年館山市入不支出追加更正

議案ナリナリ 昭和三十二年館山市特別会計国民健康保険入不支出追加

更正

更正

議案ナリナリ 昭和三十二年館山市特別会計公益施設入不支出追加更

正

一 市道の合議に付した事件



議事日程に同じ。

— 〇 —

議長（吉井潔君）開会に先立ちまして、嶋田議員の監査委員就任のごあいさつをゆがります。

嶋田繁君 登壇 拍手

〇三十五番（嶋田繁君）私、総般監査委員に御推挙を受けまして、また再度この席をけがすことになったのでござります。

御承知の通り、地方自治法が改正せられまして、その職責が一層重大になつて参りました。際に、顧みまして力が足りませんが、誠に堪へてあるような次第でござります。しかし、たゞ推挙を受けましたから、は微力ながら一意お盡ししてみたいと決心してあるように、やがてござります。それにはやはり皆さんの御支援がなければならぬと存じてあります。

どうぞ、こんなにも一番御べん達御指導のほどをいへに、この席か



らおわがし申上げる次第でございます。はなはだ簡略略が  
か一言申上げまして新仕のありまつといたします。

議長つらき来る(申上げます。本日出席議員数二十六名。

二つより四回市議会臨時会を申合にいたします。

暫時休憩をいたします。協議会にり替へたいと存じます。

午後一時十二分休憩

午後一時二十二分開議

議長(さき)議長(現在出席議員数二十七名。本臨時会に議安木

説明のため岡村市長、小出助役、矢野祐三課長、斎田健彦課長

代理、吉田商工小産課長、岡崎選管事務所長、眞田収入役代

理、新井建設課長、高木農産統計課長、小倉秘書課長代理

長合川福祉事務所長、羽山宮主課長、伊藤戸籍課長、黒瀬

我務才一課長、山口税務才二課長、池田診療所事務長、工藤

教育長、鶴江庶務課長、松本社会教育課長、奥田直木委員。



以上の出席を止めましたので御報告いたします。

○議長（石井 澤吉）ついで今議録署名委員の決定を行います。お諮りいたします。従来の例により議長のお名により決定いたしますことに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 澤吉）御異議なしと認めます。五番議員後藤ゆき君、三十四番議員飯田義男君以上御両君に決定いたしますことに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 澤吉）御異議なしと認めます。よって決定いたしました。○議長（石井 澤吉）ついで今期の決定を行います。本臨時会の会期につきましては議会運営協議会の意見は本日一日ということでございます。お諮りいたします。今期は議会運営協議会の意見通り決定いたしますことに御異議ございませんか。



(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長「さき津君(御異議なしと認めます)よつて今期は一日と決定いたしました議案を配布いたさせます。

(議案配布)

○議長「さき津君(議案の配布をねがひます)せんか。

先ほど報告申し上げました議案説明者のなか之安藤市役所長を加えます。議事はあつて討議に配布の日程表により上程いたします。

○議長「さき津君(日程を一報告)十六日、同十七日一括上程いたします。

(書記朗讀)

報告十六日昭和三十三年四月八日校査報告

報告十七日校査報告についで

(奥武夫君登壇)



の監査委員(岡武夫君)報告第十六号について御説明申し上げます。  
七月十三日に例月検査をいたしましたのでその結果でございます。

まず一般会計におきまして市税の収入が四百五十万有余ありました。このうち  
市民税が七十九万、固定資産税が五十七万、自動車税が九十六万、  
たばこ消費税が五万、そして百五十八万三千五百円、電気ガス税が六  
十五万四等が主なるものでございます。

税外才入につきましてはこのページの税外才入欄で詳細を示されて  
おりますのでこの表を御覧なかりとうございます。

才出につきましてはこのページの一般会計支本状況表によって御参照  
なかりとうございます。最初のページに度りまして市税の収入未済額が  
この数字によりますと、八十九万九千五百円年となっておりますが、この  
うち前期のこなりものが五十二万八千五百円でございますので、正味の増  
減額は約三十五万七千五百円でございます。以上で一般会計を終りまして、  
つぎに特別会計の公益質屋について説明申し上げます。



ここで勝手算の数字に誤りがござりますのでひとつ御訂正をねがひとう  
 ござります。最後の出納員保管が九万三千五百円となつてあります  
 が、これは三十三万七千四百八十九円でございます。収入の部にあきま  
 して前月の残高後において貸付金回収額、貸付金利子額  
 がこの六月中に一銭も入っておりません。これは市の会訂簿へ入つて  
 りないので、こつこつ報告を書りなわけでございますが、実際にあきま  
 しては船形會屋、富崎會屋ともに元金の回収、利子の収入をちた  
 のであります。それを~~出納員~~が船形にあきましては千葉銀行の船  
 形支店、富崎にあきましては富崎農協に預金してあきまして、月  
 末にそれを市の会訂へ入るつもりであつたのでござりますが、自分が  
 病氣になつてしまつて外んでその手続きができなかったといふことで  
 あつたのであります。月が替りまして、間もなくその額は会訂へ入  
 っております。その額が元金にあきまして三十三万二千九百五十  
 円、貸付金利子にあきまして四万二千三十九円、合計二十七万四



千九百八十九年というものが出納員が保管しておいたのをございます、  
かみることばもさういひがないことでもありまして、こんど絶対にさういふことのな  
いように保員ならぬに所管課長に十分注意してあきました。

以上で賣屋を終りましてつぎに特別会計國民健康保険でございます。  
まず収入の事業勘定にあきまして二百十五万四千七百六十九入っておりますが、  
このうち國庫からの助成交付金が百六十四万五千四百六十九ございます。  
それから前年度からの繰越金が四十九万五千二百十四このなかに含まれ  
てあります。その他は大体この春によつて御了承いたなげることと思ひます。  
のでよろしくおながひいたします。以上で報告をすなはちの説明を終ります。  
つぎにキナセでござりまするが、創年一回やつてあります。保育園ならぬに教育  
委員会関係の学校、幼稚園、青年学級等につきましてその授業料、保  
育料の徴収状況ならぬに本年は物品の保管状況について監査いたし  
ました。七月十六日、十七日、十八日の三日間でござります。授業料、保育料  
の徴収につきましては年々その徴収事務も整備されてきておることば



十分認められました。その金額の徴収額については専業会計へ入った額と相違ないことを確認いたしました。なお、この徴収は従来の慣例によりまして、学校幼稚園等の養育先生方による徴収をゆだねておるのであります。これは先生の方になります。しなくてもいいことをやらせておるということになります。気が分る方もあります。ここに感受をいたしますので、やはり本職員もしくは主任職員として当局から正式に任命してその徴収を責任をもってさせるということになります。それから四の保育園の保育料についてでございますが、たゞいまでは毎月、その月の保育児童の数は二十五日十人が出席したということでは、概算調定もやっております。翌月になって正確な措置費を出して収入の調定の増減を行っております。しかし御承知の通り、保育措置料というものは保育児童の出席日数によって個々に異なりますので、毎月末においてはっきり確定するわけでもあります。から、翌月の下旬にいたってその前月の



確定した調定額を調定して行うのが妥当であると考へるのでございます。  
この富崎幼稚園の保育料の誤謬調定でございますが、昨年の九月に二人  
人を見間違えて多く調定してしまつてそれがうのまま未整理のまま現  
在になつておつたのでございす。まづこのことは誤りでございますから気がつ  
けば私たちはこれを訂正しておいてくれればそれでよいのでありますから  
この点のことのないように注意されたいと申しておきました。以上で授業料  
保育料についての説明を終ります。つぎに物品の保管状況でございます。  
まず、物品の帳を整備して物品の保管について十分気をつけねばな  
らないという事は前もつとくに申しておることでもあります。なかなか  
二つが面倒なことでありますので、実際には実行されない現情で  
ございます。この保育料と教育委員会関係の各管下のものをみま  
した。が、保育園におきましては大体において福祉事務所等の指導がありまして  
物品の帳もよくできておりました。そして各保育園につきましてもれがはつてあつて  
よく整理されておりました。高等小学校、青年学校、幼稚園等につきましても



一部にはよくあつたところもあります。全般的にみて遺憾ながら良好とはいえない状況でございました。備品の際も非常に古いものを使ってあります。取得価格・購入価格のわかつてあるにもみかわらず全然記載されてないという現情のものがあるありました。そこで委員会の方へこういうことは困るので備品の様式を委員会で研究して一致したものをつくり、これを学校・幼稚園等へ統一して備品の際をまず整備してほしい。と一備品の保管について物品の管理について十分注意していただきたうということをお願いした次第でございます。以上で本日の説明を終わります。

議長（さ） 議長（本報告に対しては御質疑ございませんか。）

（「異議ない」と呼ぶ者あり）

議長（さ） 議長（御質疑なければ報告はこゝをもつて御了束と認

めます）

議長（さ） 議長（この日はこれにて議事書を上げたいと思います。）



(書記朗讀)

請願書(新井、楠見地区下水溝改修)

○三番(荻全田七郎君)紹介議員を代表いたしました一言をおねがい申し上げます。本下水の改修の請願の事由は内容はお出であるのであります。多年の改修懸案でありまして、しかも降雨の際等は一番その必要に迫られております。区では下町から新井、さらに伊町、楠見にわたっておりまして住民の難渋はひとみたらぬのであります。以上御買察下さいまして御賛成あらんことをおねがい申し上げます。

○議長(石井 津男)本請願書採決に対して御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(石井 津男)御異議なしと認めます。よって本請願書は採決と決定いたしました。採決いたしましたのでございますが、この処理をいかにいたしまして、どうかただちに市長の方へ送付することでおねがい申し上げますか。



「異議なし」と呼ぶ者あり」

○議長（市井 津君）さうでは市長の手許へ送付いたします。

○二十三番（福岡保徳君）請願の採択になったときの処置について伺いたいと思

います。関連がありますので…… 二十八年の九月に船形の托兒

所設置についてが赤十字財政の理由でもってしまつてゐないか

わからない。西神戸公立幼稚園の設置について三十二年の九月 西神中

小学校の教室を新築について三十年の十二月 大形回の九重の道路と校舎

の改築について採択になつておりますが、一年をたててもうがなひか

赤十字財政の理由がこんどは立たないと思つてますが、いゝいゝかゝるか

伺いたいと思ひます。きんぎの採択のふもてきましてなほいゝいゝ

るやうなことになるかおしやわがらうと思ひます。

○市井（田村利用君）（陳情ある）は請願等については重要かつ緊急度

の高低ものほかにござりまするが、赤十字のちまうても全部をたてずには

行つてゐるものではなからうか、その重要係と見合ひまうて、またいゝいゝ



その間の事情もござりまするので、事情をよく勘案したまいてなるべく早くやる予定であります。

〇三十三番一福岡保徳君（）と云うでは赤字財政の理由を考へてやらなかったか、との分については、かならず採択になったものは近き将来にやういふ方から考へて差支へありませんか。

〇三十三番（田村利男君）（大分時期を過ぎてゐるが、考へてござりますか。

例へば九重の学校の道路などは、すでに地元の世所提議の話もありますし、設計もござつてゐるものもござります。時期的には当局にお任せぬが、たうと思ひます。

〇三十三番（福岡保徳君）（ぜひとも採択になったものはかならず実行していただきたくと思ひました。承知いたします。

〇三十五番（松本藤太郎君）（いま採択をなました昭和電工の下水ですが、これは突進してしまつたとお伺ひしたんですが、この案件は実際悪いところと一日雨が降つた直後通つた方はたゞでも印象に於ける悪い場所



食山町議 會  
なんですが、前々からこの下水のことについて当局にあわがいてきたんであります。そのときの返事といえますか。答へというのは基幹下水ができてないところとであつたんですが、基幹下水といふか、都市計画による下水はいつごろやれる見通しがあるのか、二年ぐらいつりから庫いてあるんですか。

○建設課長（新井重助君）ただいまの御質問には答へいたします。従来都市計画といひまして、やつておりますのが、道路と水利事業であります。水利事業は五カ年計画で、一応おつゆる排水施設は建設省の承認を得たのであります。こんど井構が変更しまして十カ年計画のなかに織込むといふので昭和三十一年度から昭和四十二年度までの計画のなかに入れて計画中であるといはすので、待つ氣がいらぬと思つてあります。

○二十五番（村本藤太郎君）幸い、きょういろいろうらなひに陳情が出たから、おついでですけれども、三十二年から四十何年、十年も先のことをいふのは、



と題はさういふことについて木口先をやらしてあった。逃げてあった。

そのまはにいて置くといふことはさうと誠意がなさすぎると思ふ。さういふことのないまうに實際に地方から出るおねがりといふものは本當に困つてあるからこそおねがいするんであつて、うるさいといふものゝ氣持でなくいまち誠意をもつてそれに対応していただきたりと私は希望してゐます。

議長（さき） 澤本君（つづいて日程を三臨時出納検査立会議員の互選）~~にいつても~~ 控へたいです

臨時出納検査立会人の互選を行います。お諮りいたします。従来例によりますとただいまお手討に配布の申合せ協定でその節度ついで四人を決定してありましたのですが、今回も協定に基づいてついで決定するものと爲異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（さき） 澤本君（爲異議なしと認めます。よつてただちについでを行います。



フジ様の矢端を黒く塗った棒を引きの方が当選人といたします。  
それでは今回は三十五番議員の方から逆にフジを持て回ります。

(抽 選)

議長(古 澤君) いただきます 実施のフジの結果を申し上げます。

八番議員 金木久一君、十番議員 田中祿郎君、三十一番議員 大  
野清太郎君、三十四番議員 飯田義男君、以上四名の方を当選  
人としています。以上でございます。

議長(古 澤君) つづいて日程が四議案オハナ四名を上程いたします。

(書 記 朗 読)

議案オハナ子農業委員会委員の推薦について

(「異議ありません」と呼ぶ者あり)

三十一番(山口孝三郎君) ただいま提案になりました農業委員の推薦  
の議案に対して提案の理由を申し上げますが、別所正二氏は温  
厚的な方でありまして、農業はいぬ諸般の知識において必要とされて



今回改選するに當りまして本議会から推薦する最適任者と存じまして提案した次第でございます。なにぞが瑣屑の御賛成を賜りたりと存じます。はなはだ簡單であります。御説明に代えさせていただきますと存じます。  
(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(石井 深君)御異議なしと認めます。よって本案は本案通り決定いたしました。

議長(石井 深君)つづいて日程第五議案を七十五番を上げいたします。

(書記朗讀)

議案第七十五元西岬隔高病舎の一部を処分するにつりて。

総務課長(兒手 貴君)七十五番につりて御説明申し上げます。別紙四面にござります。同口ナ三箇半、奥行三間、四十坪五合の元西岬隔高病舎

を今回本県小学校講堂等改修期成同盟会に無償で寄付をいたしまして、これを本県小学校の図書室に改築して児童の勉強に利用させようというものでござります。同校に現在PTAが建築いたしました二



3. の三十一坪の図書室がござりまするが、狹隘をうけてあります。が、期成同盟会がこの寄付を盛りまして、この材料で二十四坪の図書室を建てましてPTAに寄付したいと、こういふこととござりまするので、今日これを無償で寄付したいと考へます。

○大審一安西政治君(下)安施設を使つていただくことは結構だと思ひます。が、北条小学校の図書室といふお話でござりまするが、教育委員会におつては、どういふような考へないほど、なかなかお話がありませんたか、どうか、どういふ状態を、どういふところとござりまする。

○教育長(上)藤和平君(お)答へいたします。北条小学校の講堂その他の改修、期成同盟会、これが、百万円を寄付いたしました、それによつて講堂の改修が、ほぼなつたことは御承知の通りでござりまする。ただ、いま総務課長さんからの話のありましたように、図書室が、いかにも狹隘なものであります。そこで、期成同盟会、いたしましては、五十五万円ほどの募金中、でありまするが、なかなかこれとて困難であつて、いつ目的達成できるかわからなかつたといふやうな



うな現情でございますが、なんとかして図書館の完成をみたうとこういふことで再三校長からわねわねなうびに市長に話があったのであります。市といいたくてもござるに、予算外で図書館の建つのが望ましいといふので市長なうびにわねわねの考えをいたしまして、西岬の隔離病舎が幸ひ幾いねもあるのだと、うその病舎の資料を提供することによつて安くできるなうび非常にお幸いであらうと、みよな見解のもとにこういつ取討りに賛成したやうでございます。

。二十一番（荻生田七郎君）草案には賛成するものであります。ただ二つに関連があります。こうして西岬隔離病舎が改築せん、その他各隔離病舎の必要性がないといふので、他に転用すると隔離病舎がなくなるといふことは、しっかりした立派な避難病舎がござるというところが、前提条件であらうと思ひますが、今案にありてあらうしたことが発生してあります。何とき熊山市にありてさうしたことがないとは断言しがたうといふやうな病舎に、当分は一件理想に近い、市民が安心して入院することが



でき得る隔離病舎を完成する御意思はあやと思ひうんですが、  
どこにどういう方法でやるのか、どう市長さんはお考えになつて、どう  
実現する御意思があるか、伺ひたいと思ひます。

○市も一田村利男君（隔離病舎の必要なことは申上げるまでもございませ  
ん。現に此条の南町にあります隔離病舎も完全とはいへません。何十年  
前の老朽隔離病舎でありますので、市にいたしましてはなるべく早くある  
いはもとを平直に申上げると三十三年度予算、当初予算あたりで、その  
此条隔離病舎を全部取りまして、あつこい、大休果の指示するよつな  
隔離病舎を建てたい。また果の衛生部長も、衛生部長も、その  
ように指示してありますので、中へんと申しますか、現在位置なら大体  
世論的にも取得が行くんではなつかと思ひますし、またあつこい  
集まるところ、場所としても文句はない、いやないかと思ひます。

また近隣町村、創えば、三まとかどこかといふことだと思ひますが、事  
実三ま町から一橋に合流して、水、金を出すといふようなことを



村長からいわれたことはござります、しかしその内容はまだ積極的には話合っておりません、いずれ早いうちには理想制な滞留病舎を建てる必要があることを痛感しております。

○十九番（黒川佐太郎君）北条小学校講堂等改修期成同盟会といふものの性格をお尋ねしたいと思ひます、そのメンバーとか……

○教務主任課長（鶴沢貫寛君）お答えいたします、これは北条小学校学区の学区民を丸と一丸ものが会員となつております、PTAを中心にして学区民が大部方でございます。

○二十番（黒川佐太郎君）別に法人でもなんでもなりわけですか。

○教務主任課長（鶴沢貫寛君）これは昨年の議会におきまして御説明いたしました、講堂の修理を中心として、北条小学校の便所、給水施設、いんあ焼却炉等を改修しようとして、本年百五十万の目標額を決定しまして、募金をして、このうちの百五十万の方へ寄付しまして、講堂の改修をいたしましたんで、あと五十万円は図書館



を建てようというものでござります。法人ではござりません。

○十九番一黒川佐太郎君（私）この問題についてはあえて反対。むしろ賛成するものであります。法的にどうしたもので市の財産を寄付することでは差支えなかりかどうかというのをあややります。

○総務課長（宛先 貴君）厳格に法的な面からいいますとどうかわかりませんが、これは結句、図書室を建てまして、また学校の生徒の利用に供する、という関係でござりますので市長の行政面にありてこのくらの関係は差支えなかりとこのようにふうに分けてあります。

○市長（田村利男）君（この問題ですと）補足いたしますが、私前には去年小学校に関係いたしましたときに現在の中央小学校の図書館があれは市の市立図書館の青使ったよい建物を市からお下げて図書館に改造したことがござります。これをただちに市からもらったから完全なものにして市へお返ししようというところまでPTAで申出たわけではござります。大いに喜んでいませんが、つまり図書館の坪数



が市の学校の建物の坪数よりかえる。教育の坪数がかえると且大会  
が悪くなるので市の建物にしないすが坪数がふたないからいいだろつ  
とこつこつようなわけで 実際は市の建物であり、PTAの建物であるわ  
けですが、PTAの方としてはいつでも市のほうへ寄付するつもりであつたわけ  
でござります。そんな同じようなケースが今回とらえたわけだと思ひ  
ますが、例えは安易に高にあきまして去年の火事を起しまして焼けま  
した倉庫があるんですが、あの果の建物でかくて同窓会の建物であ  
つたわけで、大々やがしましたけれども果の建物を焼かなかつたとこつこつ  
結果が出てゐる。話は全然別でござりますが、そんなやつなことでござ  
りまして、実際は果でござりまする。また、錦山小市の教育で使うわけですが、  
所有権は期成同盟会が永久にあるものでなりからPTAで持つも  
んと思ひますが、実際は市へ寄付するものが建前だと思ひますが、  
要するに同じようなものが錦山小学校の玄関がたし、市の建物では  
ないと思ひます。あつても市の建物としますと錦山小学校の学校の



建物の面積がふえるから用るといふのでPTA所有の玄関といふことになつてゐると記憶してあります。

○十七番一嶋 貴 壮 作 君（御趣旨はよくわかりましたし、別に問題はないと思うのでありますが、たゞ法人格のなり期成同盟会といふものへ寄付する、そのメンバーもわからぬ、というようなことはせうどつかと思つておつたのでありますが、その長はつきりしてゐるのですか。

○教養部長 課長（鶴 天 貴 覚 君）お答えいたします。この期成会、会長は（一）会長でないが、会長の名前にするところになるが、つゞくと思つたが、将来会長の独断に任かせるやうなことがあつて市の寄付する、海と目と実際とが違つてゐるからと、わづらひるのでもあつて、会長がたれたら、こういうことをいつかといふなりです。建設問題会の役員の名簿が、こゝに備えて、ここにいつてくたなく、さういふと、困つて思つたが、おたすの、市議会の問題だ、といふが、おたす（このおたす、市議会の問題だ、といふ）が、役員もなつきりしてあります。なお、これは先ほど、市長さんから御談



期があつたようにまだ此年小學校も危険校舎を構へてあります關係  
 づゝ「そんなことはわかつてゐるよ。そんなことは聞かぬんだから要だけけい  
 こゝろをばいこすよ」と呼ぶ者あり（申へませうございません）  
 左が役員をばい薄はあとからあつけりたします（「うん」呼ぶ者あり）  
 の議長「さうす 津 君（御異議ござりませんか。

「煙草を呼ぶ者あり」

の議長たる井澤君は御異議ないとお認めます。よつて本案は原案通り決定いたしました。

○議事(る井) 案(る) ことりて日程オ六議案オナナク上程いたしなす  
一書(記) 朝(讀)

議案ヲモテ市有土地の貸付につりて。

○総務課長（兄）貴君（七十七号）について御説明申し上げます。二のちやほ  
りはまだ安房女子高等学校の校舎として建物が建っております。同高等学  
校に貸付けてあります。左エ地でございます。



東京にございます社会福祉法人東京サレジオ学園というのが  
今回安否女子高等学校の必要になった校舎を買収して夏  
手寮をこちらえ設けたりというのが市に貸付方を申込んで参ら  
のございます。この法人は社会福祉事業法の五十二条によりま  
して国の補助と監督を受ける財団法人でございます。現在同  
地域には早稲田大学蔵野音楽大学あるいは新潟区の夏手  
寮等もござりまして土地発展の点からも適当であらうと考えてこ  
れを有料で貸付けたいとするものがございます。

○二番（杉田） 郡（貸付は結構だと思いますが、サレジオとい  
うのは一年ごうした学園でございしたお仕事をなさっている園か  
レナト・タニナリという人がやっておるんですか。ごうした外務のもの  
みすまるとその事

○松本課長（見守） 貴君（これはいわゆるマリ教の社会福祉事業  
でございます）としてございした関係で現在生徒数が三百もござります



それでこれらの三百名の生徒を随時錦山市へ避暑に寄附したりといふ関係でございまして事業の内容等につきましては以上の程度にわかりません。（「ミッシェン・スクールですか」と呼ぶ者あり）「ミッシェン・スクールともちよつと違いますが、さういつたよつな内容のものです」（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○二三番（福岡外徳君）御参考までに伺いますが、二百三十八坪二合三勺を八千六百七十九円で貸付けた租税をひとつお答えになりますか、と思ひます。

○総務課長（完戸 貴君）これは家賃代<sup>地</sup>代統制令によりまして計算しまして年額八千六百七十九円でございす。（「もう一回説明して下さい、わからなかった」と呼ぶ者あり）家賃代<sup>地</sup>代統制令によりまして計算したものが八千六百七十九円です。（「異議なし」と呼ぶ者あり）  
○議長（お井 潔君）毎異議ございせんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）



○議長（る井 澤君）御異議なしと認めます。よって本案は本案通り決定いたしました。

○議長（る井 澤君）つづいて日程オセ議案オハニ号を上げいたします。

（書記朗讀）

議案オハニ号 市有財産の処分について。

○市長（田 村 男 君）これは那古の農業協同組合内の敷地と十二坪ばかりの古い建物の代金でございますが、これは那古小学校の講堂が非常に腐敗いたしましたのでこの復旧に市の予算と地元負担金では那古の地区民の希望するほどの修繕ができませんから、なんとか市が賣つてくれれば農業組合の手で修繕を払うという言葉を使いますどうか。たゞめために安く借りているんだが、那古小学校の方向回しをすれば農業組合が安く買つて現金を市へ寄付するから、那古小学校のすへもつと立派に講堂といふ修繕をしてほしい、というのが本意でございます。まして、二二一の教育予算に、那古小学校講堂の経費は盛って



PTA関係の人がいろいろな事情も見合せまして農業組合関係の人  
と折衝いたしました。いろいろいふような議案を提出した次第でございます。

○十七番一崎貴壮作君（うれで市長はこの問題をどう処理するお考えですか。

那古に二十万円やつちまうというお考えですか。その点について。

○市長（田村利男君）二十万円は市の金庫へ入れまして、たしか三十万円が那古小  
学校の講堂の復旧費予算はすでに盛ってあるんですが、（「だから、講堂を修理  
すると盛っております。そのほかに二十万那古地区にあるというんでしょ。農業

会で買ってもらってさうして那古の小学校に使ってもらう金にするわけですよ。

と、いやいやが知りたいてはその二十万円を市の金庫へ入れるに決まら  
んが、市の金庫からさうに那古のたかに出してやって下さるかどうかというより大で  
お伺いするんです。よって呼ぶ者あり）三十万円を二十万円にして那古の小学校  
講堂から出して出す考えでございます。

○三番田（伊勢仙之助君）さうすると、ここに前々却価格二十万とこの金を  
やるわけですか。どうもその大納得が奇かないんですけれど、教育予算



の審議をどうしようとして取引をやるということについてやれやれとて不本意なんです。三十万円の金にてもどこに使つたら一番いいかということをやつてから使ふと思うんですが、十一坪の建物と土地を買ふ十三坪で二十万円の増加をしたと云うことなんです。この点について現在那古のあの地区の価格はどのくらいしてありますか。よくわからないんですが、いままで市が賣却してある価格に比較して別段低りという点はないんですか。その点がオーと教育委員会としまして、この三十万円の金を那古小学校のみに使ふという見解について委員会とてどういうお考えであるかお伺いしたいと思います。

。十六番（嶋貴社作君）その金を那古の講堂へかけないれば那古の方で買いますかどこかその点をほつきりして……

の市長（田村利男君）那古の小学校へ使つてくれるかという条件付でござります。使つてくれれば買ふと、那古の協同組合が使う権利を保持してござります。地代を別としましてそれを向うで買おうと云うには



余様とこの点を組合せて考えたいということであつたわけだつて向う合いませんがその点ははっきりさせていた方がいい」と呼ぶ者あり)

の教育長(工藤和平君)伊勢議員さんとの質問にお答へいたします。  
那由小学校の講堂は危険度において相当高い方になってあるんでござりまするが、「君に聞いたらいいよ」「三審議員の質問」と呼ぶ者あり(これがいつも申しますように普通教室のあとになるような関係でいふに着手できるか目下計画が樹たなかつたんであります。どこへ持つてきて地元がどうしても講堂を大改修なりことにはこれは公民館の活動にも使ふのでいまやらぬことには将来において多額の金を要して非常に困るといふ要請が校長からもPTA会長からも再三あつたのでござりまして地元としても相当お金をつくつてそれに若干市の金を加えてもとせば非常に有効適切に使ふと。こういうものともな障情でござりまするので教育上の見解からこれは二十万円の見金があるにあらざりたりとこつこつふつな見解を持つてゐるわけでございます。



ります。

。市長、田村判事君（曾田の判事）がやかりませんが、私の方から先に申上げます。大まき建物はすでに何年か前に那古組合へ賣つてしまつた建物でありまして、その後にある小さな手家の十二坪です。もう二回くさのきたない物置サたりな家と地所が市の所有で、これを全部あげて那古協同組合の所有になる。こういつてゐるんですが、（いづの）大はわかつてゐるんですよ。ただや賣つた金の、もちろん市の金庫へ入ります。市が何に使おうと自由ですが、予算の上で三十万円しか現在は組んでいない。五十万円組んであるというお約束があるにはなと思います。けれどもそれがなければあとで自由だからといふのを困りますからね。とんで念を押すんですよ。（呼ぶ者あり）地元から三十万円現金の寄付申込みが四、五日前にありました。とて市の予算が三十万円ありまして半金、半分です。講堂は大株寄付がなければならぬ。というのが私の立場で三十万、三十三万、六丁万円の講堂修繕費



ということになったんですが、さうな地元の市会議員さんやPTAさんたちが農業組合で無理して買わせるから二十万円回してくれなにかというましたので市長としましては二十万円いったん金庫へ入れましよう。あとは任かせてくれと二回三回のことになったるわけです。（「われわれも一回やってもらいたいと思つたのですよ。一回やるのもどう確保するかというところはいいやが、一回してしまふのですよ。だから市長さんがかならず三十万の予算を五千万に下さるという約束は要らないんですが、気持をゆわけて下されば私としては満足です」と呼ぶが音あり）申上げます。あとに出るころは議案に追加予算で盛つていただきます。

○三番（伊勢仙之助君）私の先ほどの申し上げた質問が回答されたいんですが、付近の地価とのやからいつ二十万円というものがあつたかどううかという見解について担当者の回答を伺ひたいと思つたのです。

さうは二十万円も、市長さんにもう一度申入んですが、三十万円の寄付のほかに二十万円ももらいたいといふ希望なんですが、三十万円現金で出



すほかに三十万円をもつてたいと云うふうを考へ方です。

私は文教委員の一人として云うものに、採りおせたる予算の正味の審議を前に云うに、本案件付のものを云々といふ点については、基本的に反対です。二十万といふものはやはり市の公金でありますから公平な立場で審議して、那箇小学校へ優先的に云々するべきだといふ結論が出れば、もちろん云々とも差支へないと思ひますが、事前にと云う取引をして市の公金を那箇小学校のみに使うといふ結論を裏付けにしてこの案を出せるといふ行方に対しては反対せざるを得ないのであります。云々といふ学校修繕で困るといふ点は重き考へてあるんですが、地元の寄付を何りで優先的にあるんだという市長さんの考へ方に対しては私としては根本から、云々なくとも講堂まづは市の費用で建てても云々といふふうに觀念的に相違の用が云々あるんですが、將來も文教の予算にのりて講堂云々には、云々建てて云々といふふうな市長さんの基本的な考へ方を云々しても云々



たいとうのことも私は要するたうのうございます。(「司馬」と呼ぶ者あり)  
市長の御批判も承りし現在まで市長といたしましては教室は全額  
市費負担という建前を採っております。ところがまた講堂、図書  
館あるいはその他運動用具、物置、いろいろなものにつきましてはまだ  
市全体が黒字になつてはいりながら、これまで全額の手を振ら  
ましてはまた財政の危境を招来するといふことはわかりきつてあり  
ますので、近き将来講堂まで考慮するといふことは考えられますが、  
現在では教室は全額市費負担、いろいろな建前で済ましてと思つたす。  
十四番(中村吉五郎)この問題につきましては市の市制施行せる  
当時文章の上では出ておりませんが、申合せの上ではそのころの那  
の買収については還元するといふ申合せがあるんだといふですが、  
たまたま今年三十万円の予算をいたしまして講堂の修理に  
取かかつてみますといふとすぐに支柱等は全部腐つてありますし、  
土の等も腐つておりますので、なかなか三十万円くらいの金では到底



完全なものにならないうつので三十万円寄付をいたしました。と  
 かなありませんので、足りなり分はただいまここに出てあります土地を  
 買ってもらって、その金を還元してもらって完全なものにしたいというのが  
 希望であります。一朝大きな風がくれば危険状態にならないうつ  
 ような次第でございます。でございます。申さずもありません。たゞ  
 私ども農協のちにも話した、とつてつてつてがでまゐる。これは買つても  
 よういふつてつてつて農協のものは買つてつてつてつてつてつてつて  
 せつてつてつてつてつてつてつてつてつてつてつてつてつてつてつて  
 元々合法的にこの金が那市の講堂に使用できます。つてつてつてつて  
 つてつてつてつてつてつてつてつてつてつてつてつてつてつてつて

〇十七番（馬場井作君）那市の小学校のために使うというふうな趣向だ  
 ものが、なに市へ仕向するといつた場合に、那市の農協の人たちはこれ  
 を二十万円出して買つてくれますか、とつてつてつてつてつてつて

〇市長（田村利雄君）それは買ひません。



○三番（伊勢仙三郎君）と云いますと、現在先ほどの他どの価格の均衡の問題も答へ兼ねるようですがさらには重ねて要求します。

そのほかには土地と建物の代金というものは年回どのくらいつくておりますか、その長を承りたいと思ひます。

さらに先ほど委員会の方で那市十学校のちには二十万の積度々つてもいいんだというふうな考え方に立っておりますが、もしと云うふうな考え方に立つておりましたら、なるべく二十万円というものをめづめて置くか、一なくとも市の予算から差控へばある積度二十万円くらい金の出るんじゃないかと考へます。と云うふうな観念からいって、なるべくつな裏付けを一つたものでなくて、予算案として堂々として二十万円、那市地区のために出してもらいたいことを私は希望するものであります。

と云うふうなつくりした見解は立つて裏付けがなくても、やはり二十万円當然支出して修繕をすべきだという見解は立つたから、なるべく予算として、市長に働きかけて提案してもらうようにして、それについて答へておきます。



那古小學校を二十万減としてやれという考えではございません。修繕して  
もらうことは結構でありますけれども、こつこつと計算出来と都合をよつて  
市の公金を一すだけに使うという考え方はわねわねと一ではございしても  
納得しないのであります。

そこは委員長の公の席にお聞きなれたいと思つてですが、二十万円の代金があ  
るからやめなれという考えをな。二十万円の裏付けがなくても那古小學校  
校には二十万の程度の金を支出してやらなければ修繕はできません  
とつて、どういふふうな見解に立たれますか。その点について、そこは御答  
へねがいたいと思つてます。

の教育長（工藤和子君）ただいまの御質問にお答えいたします。

私どもとしては、ましては那古小學校の講堂の現情は、たしか二十万円を必要  
とつてゐることは信じております。従つて、ましていさゝかお説のように、あつぱく  
んば追加予算その他によつて捻出できなければならぬとこつこつひづらに  
思つてます。



〇十七番(嶋貴壮作君) この買収計画と予算に關つてあるところの二つを切  
断せたいことになるやうです。二つから命令せたまふまゝはよくやうでござい  
てゐる。どうもこの命令をなすにばいけなうです。(掌聲)

〇三番(伊勢仙之助君) 私は嶋貴さんに答へるやうではないんですが、市長  
の答へに二十日月あるからあるんだといふのはさういふやうにわけていますの  
で、その裏付けとして予算に頼んだといふ見解をばさう市長が新  
しくいふやうなことも教育予算といふものはさういふ裏付けはさう  
左右されるんでなくしてさういふ市の公の土地であり建物であります。  
さういふものを賣つた金といふものは市の公金であります。一時的に  
使はれるといふことは基本的にはあつたらう。さういふものな裏付けを  
與へて事業を出すことはあつたらう。それがさういふことだと思ひます。  
さういふ裏付けがまゝいふと……

〇十七番(嶋貴壮作君) ゆかりました。ゆかりました。市長さんが市長を  
取締して下さうならば別に差支えなかつたかと思ひんですが、











十二年、二十年とまゐつて、ついに講をまゐりて、あんだけ、文脈なものがあんだから維持したいという熱意に、われわれも動かされまして、いろいろと尊重も、租んだら、約八十万かゝる。それで地元は、三十四年記念とかいふといふところ、五十五で、三十四ない、五十五の昇付を、争いがあると思ひます。さういふ、さういふ、争ひが、たゞ、これに、争ひ、知の通り、那古地区は、（私語するもの多く）聴取困難（か）ける。のも、気の毒だから、いろいろ、腹をひねったあげく、那古地区から、全持する、当時、実業が、いまの館山市に、持参金を持って、いろいろ、こゝは、申上げ、まゐらない、であります。が、持参金を、持て、嫁入り、したんだ。と、こゝ、二、三、もあるから、あの土地を、なんとか、使わせて、もらつた、と、こゝ、か、こゝ、の、と、こゝ、二、三、曲、居、業、会、の、方々、へ、あ、わ、が、い、し、ま、い、た、と、こ、ろ、が、子、校、で、使、う、と、い、う、条、件、付、な、ら、ば、い、い、こ、う、な、ん、で、す、と、こゝ、で、わ、れ、わ、れ、が、市、長、さん、教、育、長、さん、に、あ、わ、が、い、し、た、市、長、さん、も、教、育、長、さん、も、所、属、に、申、上、げ、た、ん、で、あ、り、ま、す、わ、れ、わ、れ、が、こゝ、に、ま、た、ん、で、あ、り、ま、す、市、長、が、







席上で教育長さんは善処いたします。ありますようにとつたところによい  
 に出ているんですが、現在の那下の小学校の二十九の追加の問題  
 なんです。この問題は校長会でかけられたんですか。かけられ  
 なかったんですか。この矢をひとつ伺いたいと思ひます。

それからしまひては町長も何年かかつておつて経験があるんだから  
 宇勢さんのおっしゃることは、實にもつともだと思ひますが、貴重な  
 ところだ。その分は予算と上手に議案を説明していただきたい。

○教育長（工藤和子君）お答えいたします。ただいまの那下の学校の問題は  
 は校長会とは関係ございません。校長会の問題ですがこれは町長さま  
 が、南中学校で校長研修会がございまして、この研修会という  
 のは教科の研修と学校管理のいろいろな問題を専門的な見地  
 から互にいろいろ伺つてあります。これは非常にいい試みだと思ひ  
 ますが、その際、南中学校の天井の問題が出まして、天井の考  
 へてゐる大と一致したんであります。かようなことは誠に大所的な



見地から自分たちの学校とこの立場を商いて互いの学校をよくして行  
くというふうなやしい考えでよろしいという意見を述べた。これは申出ても  
いいなり。参考にしてよいと。この申し反のであります。校長今の決定をどう  
もまゝ採用したいと。この申し反はあります。

○三十二番一室月曜 昨（この）議案につきましては那古のふらぎ校講堂  
の改修で六十万の金では足りない。八十万かかるというところで、しかもその外  
にもいま各議の要から費用がかかります。従いましてこれはやはり  
教育のことであります。講堂も完全に改修しなければならぬ問題  
であります。先ほどから申しております。この追加予算は今日の議案  
に出つていふところとありますので、既に予算を上げたいという考えは校務  
にあります。この不要財産の処分についての問題は理由が市費とい  
ふものの説明がわかってありますので、かようなことではななくして、議案未  
説明について申し上げるべきことがございます。それから申しつて、その  
取消してこの三十二番一室月曜は議案として審議する。追加予算の



五十九日は別に審議する。これは不入から支出するものであります。

これは何でも学校の改修につきまては大賛成でございますので  
ひとつ議案の説明が附に落ちないと思ひますから、処分の方は処分だ  
けにして、どうぞもう一回議案説明をおねがひしたいとかように考へて  
あります。(「議長休憩」と呼ぶ者あり)

議長(三) サ 津 君(しばらく休憩いたします)

午後二時五十五分 休憩

午後三時五十分 開議

議長(三) サ 津 君(ただいまの出席議員数三十五名 休憩前に引  
續いて会議を申します)

○三十五番 村本藤太郎君(市有財産の処分という点でございますが、  
問題はそのにあるやけなんです。が、赤字で困るから市有財産を  
処分しようというふうな考へ方は、なんかどういふことを考へては  
なうぬございまして、市有財産を処分する場合、その物件に



よって將來どのような結果が出るか。また処分した金をどのような使  
つて行くか。將來市としてどういふような結果になるか。どういふ土地の  
功罪をよく見きわめて処分して行くかなければならない。どういふ考へ方  
から今回の那すの宅地を賣つてその金で学校の施設を少しでもよくしよ  
うという考へ方。この考へ方には私は賛成をいたします。正しいと  
考へる。しかしそれはこのような処置をとるまでの考へ方であつてこれを  
審議に當つて全部がしまつてしまつて行くということは、この會議で  
これからいふことが論議されるべきではないものでありますから、議會  
というものが無視される。どういふ考へ方からやはりこれは一線を画  
して考へ方をここでもつてぶちまけてしまつていふようなことのなり  
ようにもう一人市長さんから取消していただきたり。どうしてもう一  
人最後からこれをやつて行くことを私はとくにあなかりをりたいたいと  
思います。(賛成)と呼ぶ者あり。もうひとつ述べます。市長、予算  
と一つは那すの小中学校を六十月で直すといふことになつてあるんで



すが、それがいま申上げました非常に建設的な考えであるのはな  
 かった。と、これに二十万足して八十万というものをやるんだとすれば当然  
 これは議会で問題になればその責任をもつて研究をい。調査を  
 してある常任委員会のうちにもその長を通過していかねばだと思ふ。  
 中にはあつた場合常任委員会のところではなんでもないんだという考  
 えでなく、予算が二十万もふんだというところになれば委員会へ  
 そのことで一応通過してありてそのようにしたらなんにもしわなりと  
 私は思う。という意味で、というより大がかりであつたという意  
 味で議案がなんか無視されてゐるようには考えざるを得なくなつて  
 しまつてあります。

の市長(田村利男)が(ハナニも議案につきまゝしていろいろ誤解を生  
 じた)だれもあるまいと云ふにありますが、私としては、まゝ申上げまゝに過  
 り、倉山市農業協同組合の賣却するものとする。というわけであ  
 り、これは、まゝに賣却したものは市の金庫へ入れる。といったものと



のことではございませんのでよくあやかり申上げます。(異議なしと呼ぶ者あり)

○三番目(伊勢仙之助君) 先ほどいいました裏付けにするということについては、  
対してはどの様な考えを持っていますか。その長をはきりしていただきたり  
と思っております。

○市長(田村利男君) いったん不入にいたしました。必要があれば追加更正予  
算におしまし、さらに検討をおわがりたいと思っております。

○三番目(伊勢仙之助君) 裏付けということでは先ほど一番最初に申上げました  
が、裏付けということでは考えなりということに解してよろしいゆえにございま  
す。さらに質問いたします。

○十番目(読貴北作君) 経司市長はなかなかということになる。議会の  
すぐは聞いただけのことになる。速記録をどうも一頁大読んでもらっていただ  
いたらいいてほしい。

○市長(田村利男君) 市の一般財源に入らずして裏付けはいたしません。



(「了解」異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(石井 潔 君) 御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(石井 潔 君) 御異議なしと認めます。よって本会は東京地通  
決をいたしました。

○議長(石井 潔 君) つづいて石井君ハ議案オハ十三号を上げいたします。

(書記朗読)

議案オハ十三号 事務用紙は無線電話機を直接購入について

○事務局長(安藤 寛吉 君) ハ十三号の議案はついで御説明申し上げます。

事務の出勤に關しまして迅速または調整をとるためにはどうして

無線機が必要でございますので、ここの事務に無線機といふものは

重要な役割を果すものでござりますので、今回購入しようと思つて

まする無線機は手電氣棒式会社の無線機でございます。

手電氣は御承知の通り製造距離がはなれません。関東地域一般



にやたりまして販賣いたしておりますのはこの三峰電気株式会社でございますので三峰電気株式会社から移動式の送電信機その他関係必需品を購入しようと思つてござります。以上でござります。

三上普一技生田七郎君（署長さんにお伺ひしますが、実際問題として例之がどういふ場合には無線機が使われるかというようなことをひとつ御説明をあらわがいたします）。

○警防署長（安藤 晃吉 君）「例をもつて申し上げますがよろしいやうにござりますか。例之が本年一月から現在まで火災件数が大体三十回にござりました。そのうち損害額一万円以下と稱するものが大体十四回にござりました。これにそれそれ各分団消防署が出勤いたします。大体この十四回に出勤いたしました自動車数が六十九台出ております。その他人員等も相当数にのぼっております。かようなわけでござりますましてこれらを調整いたしますことはまず消防の節約、機械器具の消耗あるいは車両の損耗等かなり節約できる。しかも仕事



の面について十分なる調整がとれて、介して、かように考へてあるから、  
 になります。

○三番（伊勢仙之助君）さらに具体的な問題について……この無線機  
 の運用方法についてどういふふうかお尋ねしたいと思ひます。

例へば消防車に何号車と何号車について本署の方にはどういふふう  
 にやるか、その連絡の方法、機械の設置と運用の方法について御説明  
 ねがひたいと思ひます。

○消防署長（安藤重吉君）これは固定局を消防本署にあります。

移動局をただいま消防車を全部一号、二号、三号……大抵までで  
 しまして、一番大きいのも一号車としてあります。この一号車以外の

るいすず車については、これは移動局を設置してあります。そして、  
 交互に送受信をいたします。そして、これは本部の方を館山消防

本部、これは電波法によって登録されますので、お前は厳重に研  
 究してあります。片一方が館山消防車一号、かようなもの



相互の通信をいたします。將來と見るならば、分田等の連絡をどうするかという点になります。これは各分田に受信機、輻射受信機、あるいは停電器、庫内灯のものまでございまして、この相互の通信を停電器に置きまして、より一統せず、本局、移動局の通信を基業いたしまして、出勤も調整する。かように考えてある次第でございます。

○三番（伊勢仙之助君）さらに具体的に、お尋ねしたいんですが、わいわい素人考えで、一子車のみでは非常なところが多い相互間の連絡が、下円滑でないかと思うんですが、仮に二子、三子とつかけ、場合によっては上などのへんり追加したらつけ得られますか。移動局の設置の費用は、ついても尋ねたいと思います。

○消防署長（平藤兼吉君）他市で実行をしておりますのは、一子車、二子車だけでなく、分田所はこの設置をしております。従いまして、今回二十九万という数字は移動局、固定局の送受信機、二台分とすると、要します。停電の場合の必要をいたしまして、予備電氣、それからアンテナ等をつけ



まして大伴ここにあります。約三十万、それの各地域等にありて傳受  
 していただきます。尚、單なる受信機が一個、平均大伴三千円でございます。  
 ます。これを努めて多く設置していただきます。相、一向の通信を働いて  
 いただくことが、情報を早くキャッチすることになりますので、かように設  
 置したいと考えております。ですから、できるだけ、公、道所単位  
 に、かような設置をしていただくことを希望してあるのでございます。  
 なお、補足いたしますが、専門の無線士が必要となりますが、現在消防  
 署には、五、六以下、無線士が二名あります。野、原の場合になります。  
 す。この無線士が無線に従事いたしますので、消防業務には、従事でき  
 なくなります。従、りまして、現在では、消防職員、の不足を生じている。  
 かように考えてある次第でございます。

○三番（伊勢仙三郎君）この予算上の点が、はっきりしなかつたんですが、例、如  
 二、三車、三、五車ではなく、公、道所単位に、館山、船形、阿、崎、といふように  
 分、割して、ま、た、い、く、べ、い、く、の、予、算、が、必、要、で、あ、る、か、と、い、う、大、体、を、い、い、



すわたりでしたら御答へすわかりたいと思います。

○消防署長（安藤 寛吉 君）細かい数字はわかりませんが、仮に三カ所はこの設置をいたしますと、設置費はけども三カ所九十万。うへに要します無線士がやはり二名は必要でありまして、二名といつてもどつどつ二名でありまして、非番も番になりますとやはり四名になります。ですから無償を托置いたしますと人員だけが十二名、送りまして十二名の増員が必要になつて参りますので、その夫の予算が考へらるゝのであります。ですから現在の消防予算から割出しましたら消防職員の一名の予算といふものが大体三十万円くらいになつておりますので人件費だけでも約四百万、設置費が大体九十万、ふやうに考へてあります。○七番（鈴木 市蔵 君）ちよつと伺いますが、どういふ理由でこの隨意契約といふものをやつたんですか、ほかから見れば利りかなんか……

○消防署長（安藤 寛吉 君）現在消防無線を製造してありますのが、三菱電機株式会社とハ欧無線株式会社、この二社だけしかなかったんであり



ます、ハ欧無線は最近の会社でございまして、まだ規模等も小さいのでござ  
います。中電気は御承知の通り全国に有名でございまして、販賣網を持  
つております。そしてハ欧と中電気とどう感度が違つか、どう製品が  
違つかという点につきましては、やはりハ欧は週日新聞、伊勢崎の方にお参り  
まして実際に使用してある消防署を見学いたしました結果、中電気  
の製品がいいという結論を得たのでございまして、会社の堅実性からみ  
ましても中電気と随分入すべさだと思つて、かように考へております。  
○十番（嶋貫壯作君） 眞音が悪いから退場させていただきます。

○三番（伊勢仙之助君） 私の希望としては、三子車、三子車にも同定司で  
なく、移動司をやはり設置した方が、非常に消防署でもやりやすいな  
か、というふうに考へておりましたんですが、予算との他の関係もあり、これを得  
ないと思ひますが、ハ欧の東京には、無線機を設置するのについては前々か  
ら希望してあるもので、賛成したすものであります。私がいつもここに  
きて考へますのは、消防署長さんか、やはり市議会にお参りして御答弁を



れている状況をみて非常に現職にいろいろのそこをこまていただくん  
ですが、こんどつぎには消防署長さんに代る人でも消防関係の役職員か  
課長さんその他におられると思いますのでつぎは現場のチー線に立  
って議会のわずとやい答弁などになりようにできなり思いますがどう  
ですか。その大市長さんの御見解を承りたいと思います。

○市長(田村利男君)将来いろいろと相談しまして適当な方法をと  
りたいと思います。(「東京異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(石井澤君)御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(石井澤君)御異議なしと認めます。よって本案は東案通  
り決定いたします。

○議長(石井澤君)つづいて日程第九議案オセトハ号を上げいたします。

(書記朗讀)

議案オセトハ号 国民健康保険運営協議会オセトハ号を選任について。



○保健課長代理（渡辺 茂男）御説明申し上げます。当市の国民健康保険条例の改正案に基きます委員の定数は十五名でありまして、本年の六月十二日付で六名の委員が任期満了となり、欠員を生じましたので、先般是例会において五名議決していただきましたが、公益を代表する委員一名が欠員でありますので、本案を提出した次やでございます。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 潔男）御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 潔男）御異議なしと認めます。よって本案は東条通り決定いたしました。

○議長（石井 潔男）つづいて日程を十議案にせず二十号を上げいたします。

（書記朗読）

議案第二十号 館山市文化財保護条例改正について。

○教育長（工藤 和子君）館山市の文化財保護条例について簡単に御説



明申し上げます。現在館山市内にございますところの県指定の文化財は

唐棧織、塩井戸、小綱寺の梵鐘、この三つでございます。これは県下の

条例によって保護されてあるんであります。しかしながらこれに準ずる

ものが市内にもたくさんあるんであります。鋭切神社の独木舟であり

ますとか、あるいは神戸の大鰻、沼の菊目石その他、こんごの発掘によって

埋蔵文化が續々出てくる、だるう、ということが想像にかけないんであり

ます。かような発掘されたものが自由に他に持去られる危険を除去

これをまもるといふ見地から公的機関でこれをまもっていただく方と

かような趣旨でございます。この条例は全部につくるべき条例である

か、市だけであるか、なかつくらなければいけないものであるか、どうかという

ことについて御説明があります。と仰る者あり

の教委社会教育課長（松本 久君）お答えいたします。これは文化財保護

条例の御承知のように昭和二十五年に国として制定されたものでござい

ます。県下の条例が二十八年に制定され、さらに三十年に改正されてお



果の条例が制定されております。従つてこの文化財というようなものが、いままでは非常に終戦と前あるいは終戦後も一般になんといひますか。ざんざんにされておたといふような状態でありまして、こういうところにて保護法が生まれてゆけてございます。従つて果としましては現在千葉、果に布いてある果の条例と八日市場の文化財保護条例といふのがつくつてあります。果下としてな一カ所だけあります。

船山子といふのは、いまだ説明がなまじたように保護してあるべきものの將來  
 を保護するであつて、いふようになつてが予想されるもの、これまたさういふ  
 いますので、「一般のさういふ文化に對する」とこの認識を採つていただくと  
 ともに、散逸、破壊、毀損を免れべきものを保護していただくといふよう  
 なことから前として、このいふ年例をつくつていただくことが適当にやなりか  
 らうといふことに考へてあります。現在のことゝは、特別に各府で強制的に  
 つくらなければいけないといふような年例ではございません。（田代義孝）  
 と呼ぶが若あり）



○三番（伊勢仙之助君）この年例は結構だと思ひますが、一応予算的に  
年間どのくらいの予算を使用される見込みか、概略でいんですが、あ  
よその見込みですね。どういふようなものは一応お樹てになりましたかど  
うか。また厚肉の二れに対する文化財保護に対する人件費、その他出  
張、どういふものの予算のワツといふものはどういふふうにお考えですか。  
。教育社会教育課長（松本 久 君）お答へいたします。二れは他市の状態も先般  
視察もいたしまして、研究いたしたいんですが、例えが東京の都下に青梅市  
といふのがあります。人口は館山の倍くらいになつておりますが、二れも  
現在予算の關係で、やり方といふ使つてありません。八日市町あたりでは  
予算化してありません。現在の案例では費用平償を出すといふ極端な  
ありまして、将来市の予算が許されれば、いふ極端的にこの予算を  
組んで一般に保護すべきもの、あるいは整理すべきもの、いろいろあると思  
ひますが、どういふようなものばかり整理をし、保護して行きたいと思つて  
あります。本年度は予算は費用平償をけでござんいます。



○議長（右） 案（右）異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（右） 津（右） 案（右）異議なしと認めます。よって本案は東案通り

り決定いたします。

○議長（右） 津（右） ついでに白根（右） 議案（右）を上げたいです。

（書記朗読）

議案（右） 館山市職員の定数条例の一部を改正するについて。

○農産統計課長（右） 本（右） 案（右） 説明申し上げます。これは農産課の本

会法がこんど改正になりました。書記を農地主事に改めることになって

おりますが、説明については知事の承認を得てから主事に改めることにな

ります。ありがとうございます。（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（右） 津（右） 案（右） 異議なしと認めます。よって本案は東案通り

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（右） 津（右） 案（右） 異議なしと認めます。よって本案は東案通り



決定いたしました。

○議長（石井 澤君）こつて日程オナニ議案オ大下五号、同オ大六号、同オ大八号、同オ大九号、同オ大十号、同オ大十一号一稿上程いたします。

（書記朗読）

議案オ大五号 館山市職員給与条例の一部を改正するに付て。

議案オ大六号 館山市職員等の旅費に就する条例の一部を改正するに付て。

議案オ大八号 館山市教育長の諸給与および勤務条件等に関する条例

例の一部を改正するに付て。

議案オ大九号 館山市公民館条例の一部を改正するに付て。

議案オ大十号 館山市図書館条例の一部を改正するに付て。

議案オ大十一号 館山市社会教育委員に関する条例の一部を改正す

るに付て。

○秘書課長代理（小倉 澄男君）議案オ大五号に付て御説明申し上げます。

この条例は先般国会にありて一般職の職員等の給与に関する法律



の一部改正が行われ、國會を通じてたのでありますが、その改正長をかい  
つまんで申し上げます。いままで民間給与には較べられて、國家公  
務員の給与が一ニパーセント低いといふことの爲めのベース改善。それと  
関連しまして現在までの給料表といふものは昭和二十三年に規定さ  
れた給料表でありまして、現在の行政機構に非常に即さないといふこ  
とから給与改善が行われたのであります。そしてその給与改善の主  
なるものとして、給料表を現在まで六種類であったものを七  
種類、それからただいままでは一級から十五級までありました給料表  
も等級制にいたしまして八等級に、それから現在までありました勤務地  
手当が合併やいろいろ諸物価の不安定によりまして非常に均等しな  
く、いろいろといふので、この勤務地手当を廃止するといふ意味におきま  
して國家公務員の給与改正がなされたのであります。これは基きま  
して自治庁の局長を通じて、國家公務員がこのたびのよくな  
改正をされたから地方公務員にありてもこれを準じて給与改善のそと



かたつと、それについては本年度の地方財政計画にあきまして大体いままでは  
公務員の財政計画に盛りました基準が一万四千円の給与でのことになった  
と聞いていますが、一万五千三百円にアップいたしました地方財政計画を  
盛り、財源措置をしたのでひとつ地方公務員においても国家公務員  
に準じて給与改訂をしてもいいなり、と、そういう通達がござりましたの  
で本市におきましてそういう検討いたしました結果、給与の改正はやはり  
は職員の勤労意欲などには本市の安定、と、このことによりまして  
一般市民に対するサービス精神の向上、こういうことも考慮いたしまして、  
また黒字財政も踏み出したということから国家公務員の給与改正に  
準じましてこの給与改正を提案した必要でありまゝです。

内容について簡単に御説明申し上げますと、まず主たる改正点はやはり  
国家公務員に準じまして給料表を、国家公務員は八等級でござい  
ますが、館山市の職員には非常に適当なり、すなわち年々にも高給の額があ  
るというので本市に適用いたしました。給料表も決定したということ、その他



初任給、昇格とか、どういつようなことはすべて國家公務員と同等の條例を決定いたしました。それの圖にはなみついて特殊勤務手当を改正したんであります。これはいままで稅務職員、徴收職員の手当が月額旅費で出してあったんであります。一般の旅費の改正によりまして、月額旅費を削除いたしましたのでその代替にいたしました。それから給料表について向學に御説明申上げますが、餘山市の現在の職員の給料の分布状況は國家公務員の各等級表にあるはめまして調査いたしました結果、餘山市といましては國家公務員は五等級は六千五百円が最低でございまして、最高は一萬五千三百円なんですけれども、餘山市の現情としてはまだ二千より下の職員があるといふので、この際、この職員を全部上げてしまつていついふとも財政的に許さんないので、同いような例によりまして五等級、四等級、三等級の上下は給料表に準いまして、三より下は四といたしまして、あくまでも國家公務員がつりましたこの給料表の精神にのっとりまして、まだ前後に差をつけて給料



表の改正をいたしました。これはいくばこの給料表を作成することになりましてはあくまでも国家公務員の給料表を基準としてやるつもりで、基準としてやることになりました。すべての給料上の方法が円滑に動く事務上のことからしてもこのようにした次第であります。それから付則でございますが、付則は非常にはたくさん書いておりますが、これは給料を代替にすることに当りましてもいままでの各職員の昇給の順序でございますが、十月に昇給した人と一月に昇給した人とが昇給の順序が狂ってしまつては行けない。とこの順序を狂やせなりようにするということの意味におきましてこの付則の二項から八項まではとこの規定でございます。この二つの暫定手当は勤務地手当が廃止されましたので勤務地手当が将来本給に輸入されるまでの間の暫定処分手当としてこれは恒久的な法律ではござりませんので付則におきまして暫定手当を盛りました。もうひとつおきました。このようにいたしました。本市におきまして改正いたしました結果、現在の職員の平均給手ベースを申し上げます。現在が給手総額で二万三千六



百円、それを改正いたしました結果、一万四千四百二十三円、すなわち、スパーセ  
 ニトのベース・アップということになったのであります。なお、これに伴ひまして  
 一般会計の追加として、大分四百五十万、これはのちほど追加予算に計上する予定です  
 でございます。以上、簡単に申し上げます。以上、御説明いたしました。

とれからつづきまして議案第六十五号、なほいに議案第六十八号は指示法の改正に伴う改正でございしますので御了解をかりたいと存じます。

総務課長（宛先 貴者） 議案ヲ六十九号から七十一号まで一括御説明をいたします  
 けれども六十九号のオハネオニ頂を削り、七十号のオハネオニ頂を削り、七十  
 号のオハネオニ頂を削る、三ついう関係になてありますが、これは従来職  
 員の旅費につきましては、前項の旅費額およびその支給方法は館山  
 市職員の旅費へ出張手当支給条例を準用すると、三ついう案文に  
 該当する事項でございますが、これは全般非常勤の特別職の職  
 員に係る報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正するについで  
 費用弁償を改正いたしまして、単独条例によつて支給することになり



ましたので非常勤の職員に対しては全部別の案創が行くという関係で  
今回案創から削除したた次でござります。

議長（石井 潔 君）しばらく休憩いたします。

午後四時十分休憩

午後四時二十五分開議

議長（石井 潔 君）ただいま出席議員数三十四名、休憩前に引續りて  
会議を申します。

秘書課長代理（小倉 澄 男 君）補足説明をさせていただきます。

このたびの改正に当りまして給料表とその他の年例案はすべて国家公  
務員の例によりまして、この給料表は人事院にかきまして一年間の十月  
をもちまして所定した結果できたものでござります。私の言としてこれを

変更するとかさういふことをいたしましたら二年かかっても三年かかっても  
つきないわけですが、あくまでも人事院の給料表そのまゝを使った。ただ先  
ほど御説明したように上下に少しつけた。これもあくまでも人事院にあります格不



そのまま使ったんでございまして、即ち表の数字などは、即ちこれに依り、方法としてすべては人事費の指示をいたした次第でございますので、御了承願ひしたいと思います。

の二十三番一福岡伴徳君（二の表に）関連しまして臨時職員に付いての指示はなかつたかあつたか、また考へ方を伺ひたいと思ひます。専任者が六パーセントになつておりますが、これは上司の指示より少ないんじゃないかと、思ひますけどその点もひとつ伺ひたいと思ひます。

秘書課長代理（小倉澄男君）お答へいたします。臨時職員につきましては國家にありてもいまだに財政措置をしていないので、地方公共団体にあきまして、その公共団体の財政状況によつてこれに準じて措置すべきならぬといふこと、このようになつてまいりました。それから國家公務員に比べて、臨時職員の給子ベースが低いので、平均給子が低いので、給子ベース改訂率も低くなつております。

の二十三番（福岡伴徳君）臨時職員のほうは、さう考へますには、この二、三



ふける状況であるといふなりかと思ふので、それと上は、本國がなるかな  
りか。

。勘定（小出武男君）臨時職員のうちまゝでは、ただいまのみの、ほんの  
すがベースアップされますので、それに準じて、措置したいと考えてお  
ります。

。三十三番（福岡保徳君）なるべく早く、措置して、おつていただきたいと思ひます。  
十九番（黒川佐太郎君）ただいま、昔年では、ベースが低いので、平が少い  
いふてですが、ベースは、どうして、まうない。支給の幅が、上ほど、多く、なるから  
……（途中で、さうです）と呼ぶ者あり（更なるべく、國家公務員のみ、に  
や、つり、た、ま、ら、い。低いんだから、財政を、え、許せば、と、い、い、こと、は、い、ま、あ、い、ま、な、い  
かと思ひます。

。三番（伊勢仙之助君）一応、等級制の、パセント、昇格率、というものを、出、ま、し、た、か  
どうか、総体的の、平、が、わ、か、つ、て、あ、り、ま、す、か、ら、等級制の、昇格率、というもの  
でも、し、出、し、な、よ、う、な、こ、と、が、あ、り、ま、し、な、ら、う、お、知、ら、せ、し、た、ま、さ、い、と、思、ひ、ま、す、が、



私はこの表をみまして大変文脈な昇給の仕方ですね、あります。が、向島はこの選挙のいかにありまして等級差をどのようにつけて行くかというところが出てくるんですが、これは市長さんが別に定めるといふ格好はなっておりますが、それがい実際の職員のあよぼすところの大きな問題だと思ひます。この俸給表は文脈でも初任給が非常に低いといふ長所とは市役所の吏員の方々は誠に気の毒だといふふうは考へてあります。

こんどの改正では高等学校を卒業して五十年以上の経歴といふ初任給はさうですが、これは暫定手当てをパーセントもつたにしろ、もうすかでありまして、この人反すが結婚適令期になりました。最近の生活で貯蓄をこの生活金を得るにたいといふふうは解するんですが、こいつは長所とも將來に多少考へていたんで、ぜひたくはぶきないに、これもどこにかやつて介するといふ程度の最近の生活金といふものを支給できるものは市長さんにおつて、いかに御研究なかにたいと思ひます。



若い人たちに希望を持たせるのにはやはり私生活の安定と云ふことがあつて  
はじめて市民に対するサービスの向上と云ふことも出てくるのであります  
その大前提給引上げといふ点については将来十の五を考へていた筈なりの思  
ひます。それから運転手とか云ふいう人たちが一応五等級になつてありますか  
これもいろいろ話を聞きますと技術的にはある等級、成績と云ふいうもの  
のを加味して技術職に昇格させて四等級に持つて行く方法もあるとい  
ふのであります。現在聞きますところによりますと、まだ「もと」も技術職  
には転載してゐないといふふうに聞けてあります。云々といふ点にしま  
しとも多すぎ不遇な立場にあるといふふうに考へます。そこで市長さん  
どういふ点もわかりたいと思ひます。細かい問題については↑を新設して  
行きますと云ふことゝなつて手がつけられなうござすが、ただ市長さん  
んの基本的な考へ方を聞くとこの案に賛成するかどうかといふ判断  
を下す以外にないと思ひます。これは一項目ずつ取組んで行くこと早く  
やつても三日くらいかかるんじやないかと思ひますが、とくに市長さんの



人での改正についての考えを、将来別は定むる格付けの問題をどの  
ようにお考えになつてゐるか、どういふような實際の支度員が受ける俸給の  
有利に受けるか受けるまいかの大きな分岐点になると思ひますが、どういふ  
問題について市事としての基本的な考え方を伺ひたいと思ひます。

○市長一日村利用男君（初任給の問題であります。ただいま高等師範の校  
卒業生、学校を出たばかりの人たちなどは給料に不平を懐くといふ人  
は一人もありませんと思ひます。しかし、将来何年か経つて月給が少な  
いといふようなことでありますれば考慮して参りたいと思ひます。

またいふに、将来の選考の方法につきましては、原則に基準がございま  
すので基準に従ひまして手藝者のなりようは進めて参りたいと思ひ  
ます。

○三番一伊勢仙三助君（ただいま市長さんが個々の職の員についてな不平  
がないといふふうにおつしやうなりましたが、事実その通りかも知れませんが、  
仮に五千を百万で入りましたと具体的に不平があるか出ないかとどういふ



実証を挙げますと、五十七日月で三年ないし四年で四等級に上がった。  
それから三年くらい経つと大抵二十六、七になるやうなんですが、その  
俸給が大体七十月から七十四日月程度の俸給しかもらえないんです。  
これが一歳をやって介りというふうな状態にまたとき果して下級職員  
から下平が出たりかという事については、いんげんを食う立場にある市長で  
んが、どういふような俸給で現在の物価事情とどういふものからいって  
どうか生活が出来るんじやないか、がまんしても下平が出たりといふふう  
な見解に立たんば別なんです。が、やんやんのお蔵から行きまゐるやうな  
くとも二十、八になつたら一百万くらいもある。最後の借金というものがな  
りねばいへる。借山がよほど使つて多少物価が低つていふことも困難では  
ないかといふことを考へておけなうんですが。

と云ふのもう一重大等級を上げる場合に其の事を考へておいていふふう  
にしたいやうであつておられますが、実際の運用の上でいふと、その其の事といふも  
のが非常に多いにあらう。場合が多いんでありまして、何年経て主事の







調整もこの際私は行わねばならぬ。この考えであるんですが、どうい  
う長がなされてあるかなかったか。その長でしまひつは総持表が五つり  
等級にわたるわけですが、倉山市とては五つの等級といふのは多いと思ひん  
ですが、これは従つて一、二、三、四、五に分属する戦後と致していただきたり。  
それから勤務地手当てですが、これも自然本俸へ繰入れて介かへるようは  
なつてゐるようですが、~~暫定~~措置として勤務地手当てをもらつてある  
ないものも、この十月から暫定手当てとして勤務地手当てがもらへるものと  
同時にもらへるものになつた。その戦後の数が多いが、どのくらいあるか。  
わかつたら、それも致していただきたらいい。

それからこんどの職員の大ポイントのスクリーンアップ。要するに、お持ちのものは、  
よって要した所要額がどのくらい計算されたのか、その所要額に対して  
して、風かってくる交付税がどのくらいか、市としての持ち出しの資金として  
はどのくらいか、概算で結構ですが、参考までには、ぜひとも聞きます。

○秘書課長代理（小倉澄男君）御説明いたします。  
椅子調整でございますが



これは果ならぬに國の方針といたしましてこのベース改正は非常に精密なまじ  
 練りが必要であるのでベース改正に合せて給与調整を行うというところは  
 非常に間違いないかと、そういうところがあるところが懸念を覚えるのであるべく  
 の趣意はゆ替えてスムーズにやるとその後、いままで給与調整をやつてある  
 と同じなうづづけるというところは給与調整をいたしますと、どうしても「ハハ」  
 といつて行くための財政的に非常に多くなるという二点から、  
 本庁にあきましては現在まで十年以来四カ年間に給与調整を実施して  
 ありますので現情のまま給与調整はあくまでもこんなも行つてゐるであつて  
 切なるはあくまでも切替として一応スムーズに済ましたあとに給与調整上  
 をつづけて行くんだ、そういう方針をやつてあります。

と、これから職制でございますが、職制について各市人事関係のものが  
 事でありましてこの事柄をいくつづからいふたういふかというところを数回  
 論議したんでございますが、大体各市は同じような事柄をいふ  
 ところになりかという見地に立ちまして、五事柄を標準として、これを



とか、市川とか、船橋とか、こういうところは大きな市にあきましては部長閣  
とか、さういふ制度が布かれてゐるんで、もうひとつ、ふたつなくちゃいけないが、  
ほかの市は大体五等級制という線が通るものといふことになりまして、五等  
級になつてゐる。館山市は二等級は課長、二等級は課長  
補佐、三等級は主任、四等が一般主事、五等級は雇ひといふことになつて  
あります。それから動産地手といふんですが、これは各出張所に四人  
を出張所二十名に診療所が五名、ちよつとは足りません。一、二名の  
差はあると思いますが、大体二十名の程度のものがあつて、それから  
所要額といふんですが、これは先ほど申し上げました一般会計にあきまして  
四百九万、それから交付税でござりますが、交付税にどのくらい盛込ま  
れてゐるかといふことは、さういふまじらみでないのでござりますが、大体先ほ  
ど申しましたように、地方財政計画に盛られた計算の基礎が平均給子  
は二百三十万、これを一百四十、いわゆる大バーセントのアップといふことを基  
準にいたしました。交付税のなかに盛つてあるといふ中央官庁の説明



でございます。以上でございます。

議長一百廿三番（他に御質疑ござりませんか。御異議ござりませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長一百廿三番（御異議なしと認めます。よつて日程ヤ十二の六件

は京案通り決定いたしました。

議長一百廿三番（つづいて日程ヤ十三議案ヤ十四号、議案ヤ六十七号

を二時上程いたします。

（書記朗読）

議案ヤ十四号 熊山市長助役収入役の給与および旅費に關する案

創の一部を改正するに關して

議案ヤ六十七号 非常勤の特別職の職員に付する報酬および費用弁償

に關する案創の一部を改正するに關して

。秘書課長代理ノ小倉澄男君（ヤ十四号議案に關して御説明申上ります。

ニハ「一般職員のベース改正に伴ひて本年におきまして一般職員の



の税制を考へてあります。給子が三役の給子に含んできた。いわゆる三役の給子よりも高給をもつといふような状況はなつて参りました。これは行政組織上からいつてもおかしいといつても考へられます。徳山市の三役を県下の十ヶ市の三役の平均からみました結果、それにはあてはめられても余りにも少ないといふ見地から給子の低ベースを改訂してまいつてこのように提案した次第でございます。

つづいて議案オオホセにつき會説明申し上げます。これは本市の議會議員の報酬は昭和十九年改正いたしました。以来諸物価、諸情勢が変化して参つたせいかかわらず、先ほど自治会の改正に伴り改正をいたしたんであります。それは実質的な改正ではなく、いろいろ物価の値上りといふことも考へ合せて、また合併によりまして徳山市は倍以上の増収にふえたといふようなところも考へ合せて、現在の報酬は少な過ぎるやうな感じがいたしますので、本案のようになんて提案した次第でございます。



議長（石井 澤君）御異議ございませんか。

○三十五番（嶋田繁君）関連性があつて存じますので、この際一応お聞  
きしておきたいと思ひますが、三月の議會でどうなつたか、収入役にか  
らんだ問題ですが、現在代理でやつておりますが、これはやはり市の三役  
としたいまして、当然置いておくといふことは本來であらうと思ひますが、  
そのときの市長の御答弁によりますと、近々これを置くといふようにな  
お言葉であります。が、まだやつておられない、といふ事かなとですが、これに  
對しての市長のお考えを承りたい。

それから現在、監査委員をやってあります関係上、収入役介理が非  
常に苦勞をせられてある。責任の重大性も非常に加わつてある。  
この二つに考えます。さらに備前清光さんについて、たまたの後司の責任は  
いよいよ謝罪してもらつておいてですが、新島収入役であるといふような見解を  
とつてあるんですが、さうなつてみますと、この収入役といふものの責任は  
並大抵にやない。こんなふうに考えます。によつて、この降市長は速かに



収入税を置かせることが望ましいこととあります。なほ何かの節のほかにあるものを  
これを設置することができることについては、御命令であります。たゞこの  
代理に對しまして、果創でそのまゝを轉出されたものとしないことが困難  
であります。たゞなほ、かゝるかの方法によつてこれを轉出することについては、御  
措置が必要にやないかと、こんなふうには考へますので、御意があらいますので  
一応市長の御見解を伺つて可なりと存じます。

○市長（田村利男氏）三月は、やうな御事柄なとのまじに考へてあり  
まゝ、たゞその後、たゞつて事情がまゐりまして、たゞいまは、府中であり  
ますから、御了承をいたします。

○三十三番（嶋田一繁君）それはいやなんですか。いついつと、いふうな見通  
しもお持ちになつておらんやうなわけですか。なほよく御入致し、御入致しな  
お見込み、お心持でございますか。まづそのまゝ放棄して、おへといふの考へ  
です。かゝるのをいといふ。

○十九番（黒川佐太郎君）たゞいまは、御説明で、承知いたしました。



一般職につきは創設赤字になつても當然実行はなすべきでありかといふ  
 事を考へて持っておりますが、特別職ならは議院の方によつてはなりと  
 思ふのであります。要は財政がよつて赤字になつたといふ今日これを  
 実行してもその方面は市当局は自信があらうてあるかどうか、これを  
 お尋ねいたします。

○三十五番（島田 繁十郎）私の御返事での御勘をたいと思ひますが、  
 なかや二是にしろもあつた持を聞かせんといふことなうてあります。

○市長（田村利男）答へる目的をせうにいたします。

○三十五番（島田 繁十郎）後刻答へがあらうと思ひます。いふやうな答へにて  
 あつたといふこと。

○助役（十出 武男）ただいまの十九番さんの御質問にお答をいたします。  
 三役以下特別職の昇給によつて財政措置に自信があるやうな答へをいふ  
 御意見と拝聴いたしますが、「議院」を入つていますと答へる答へで  
 から特別職とす。自信があらうといふことを申してはならぬといふことなうてあります。











（「異議なし」「草案賛成」と呼ぶ者あり）

○議長（石井 幹吉）（御異議なしと認めます。よって本案は原案を通り決定いたしました）

○議長（石井 幹吉）（さうして附帯第十四議案を十三番と見做いたします）

（書 読 朗 読）

議案第十三号 名古屋市職員の被服等件に關する条例制定について  
○総務課長（見 戸 貴君）（十三番に關して御説明を申し上げます）

本議案は地方公務員法第十四条の六項によりまして、給子、勤務時間  
および勤務条件、この三つはどうか条例で決めるという規定によるもので  
ございます。職務遂行上とくは正式な被服を必要とする。職員を  
対象として、今回被服を支給しようとするものでござります。

消防職員、消防団員、費は診療所の職員に對しまして從來被服  
は支給してあったのでござりますが、今回条例によりまして廃止する  
ことになりました。この条例は関連いたしました改正の必要が感じられるので







に相互の在職期間に通算をしようとするという通達があつたのであり  
まして、本市においてはしままでこの通算規定が設けてなかつたのであり  
ます。そのためにとくに高等専門学校校の先生の人事交流いろいろな面にあきま  
して非常に有能な先生をようから連れてくる。こちらからまた出す。

いろいろな人事交流が退職手当の付にあきまして非常におスムーズに行つてい  
なかつたのであります。そのために人事交流をスムーズにするといふ意味  
にあきましてこの退職手当の通算規定を設けた次第であります。  
そのほかには給付年例の改正に伴つておこなつております以上でございます。

○議長「お井澤君」御質問はございませんか。  
(「異議ありません」と呼ぶ者あり)

○議長「お井澤君」(参事入議)なつておめえな。よつて本年は参事会に参り  
決定いたしました。

○議長「お井澤君」つづいての参事会十六議案から十九号議案まで、議案から十八号議  
案から十九号議案まで参ります。



(書 記 朗 読)

議案第九号 昭和三十一年度館山市才入才出追加更正予算

議案第十号 昭和三十一年度館山市特別会計国民健康保険才入才出追加

更正予算

議案第十一号 昭和三十一年度館山市特別会計公益質屋才入才出追加

更正予算

○議長(石井 津君)しばらく休憩いたします。

午後二時三十分 休憩

午後五時十六分 開議

○議長(石井 津君)休憩前に引續いて会議を開きます。

○市長(田村利男君)三十五歳之人は先ほどの御答申を申し上げます。

収入役の問題ですが、近き将来慎重に考慮しなうと思ひますので

なうし御了申なうなうと思ひます。なお現在収入役代理の特別手

当といふような問題も簡単に決まらなうせんが、あうやう所定する。期



向を今之ていつたきたりと思ひます。(「うん」て呼ぶ者あり)

。秘書課長代理(小倉 達男)君(才出の人件費に關係して)御説明申上げ  
ます。あつ許に取付いたまいた。新を改正に伴う臨時格子予算額の  
算定基礎、これを御覽になつていただきまして、これによりまして各  
款項目におきまして新年度四月からとれだけ必要かという総額がこ  
こに決定されてありますからこの足りない分だけをも各款項目において  
追加いたした次第でございます。簡單でございますが以上でございます。  
。秘書課長(片山 貴君)才出のうち、二款市役所費のうち備品費  
について御説明申し上げます。

町村合併史の購入費として大万七千五百円計上してござります。  
これは今回千葉県町村合併史を国木の地方課で編集いたしました  
のでございますが、上、下二冊になっておりまして大体千五百三十二ペジ  
にあよぶほう大なるものでございます。上巻では合併の概論と、事務  
の沿革、下巻では市と町村の合併経過等について編述したものの



でございす。ま市は二十七冊制がございましたので、これを市役所にあるいは議会、教育委員会、図書館、学校等に配布いたしました。将来の資料に買いたいとこのように考へて上程した次第でございます。

○建設課長（新井 重助 君）　又四款土木費についで新説明申上げます。道路橋梁木費におきまして、維持修繕費五万八千円追加いたしました。これは過般皇太子殿下がお出でになりましたときに要しました費用でござります。又五項の水道費諸手五万四千三百七十五円は水道に勤務してありました安田省吾さんが六月五日に死んでいたしましたのでその退職手当てとして訂正いたしました。六款の失業対策事業費、道路工事改良費におきまして、二十五万五千七百五十九円追加をおねがいしたのであります。これは当初毎回七千五百人、人夫を使うことになっております。当初賃金が二百二十四でございましたが、四月一日から賃金改正



によりまして二百五十円に値を改正いたしましたので三十円追加という  
ことになりましたので七千五百人に対する三十円、二十二万五千円と夏季  
手当といたしました。市外の失業者四十一人に対しまして三日分の食料金  
を増額いたしました。それに要しました費用が三百七十五円でございます  
いまして、合計二十七万七千五百二十円追加いたしました。どうなよろしく  
の教養後援課長（善次 母貫 覚君）七歳教育費について御説明いたします。  
百七十五万三千円の追加でございます。人件費以外のものについて御説明  
いたしますと、三項の十歳教育費、常用費におきまして九千五百円を追  
加いたしました。これは本年年度の準要件保護児童の補助金が決定  
いたしました。十歳教育費におきまして創設の人員が百七十五人という指示  
がございましてそれに對する総額が十万六千六百六十六円である計算に  
九万二千二百円を計上しておりますのでその差額の九千五百円を追加したも  
のでございます。二十四年度の工事請負金にのきまゝして新形小中学校の渡  
廊下増設工事費として十万を計上いたしました。これはお聞きな



算の修繕料のなかには租んで予定であったのどにございますが、費用が渡廊下の増設工事になっておりますので、ここの方に租替えたものでございます。なお那百小学校校講堂修理費として五十万円を計上いたしました。それから中学校までにあきまいてやはり馬用費で六万五千九百円を計上いたしました。今年度から中学校にありましても、主要保護児童の補助金が交付されることになりましたのでその幾でございます。補助金の四分の一を市費負担物としていふことになっております。その総額が六万五千九百円でございます。

○選任管事校長一岡崎 寛正の君十三歳の選挙費中、十二圓選挙  
啓発費、十三圓の費業季の月会にしまゝて説明用とげます。

本年度公明選挙常時修築事業の特別専決の市町村として  
自治庁より本市が指定され本市に之の月交付されるのが自主  
財源一万四千円を加え選挙修築費に六万四千円の追加をあげる  
したのであります。なお前年度の通り曲居事業の月金もその



選挙が今月の十六日に行われるはずでありましたが、悪天候等も選となりましたので、農林委員会委員の選挙費は九万四千円更正減額いたしました次でござります。

。総務課長（完） 貴君（オ）入りについで御説明を申し上げます。

今回の追加経費が五万九千二百六十四円二十五円になりますので、この財源としてまいります。地方交付税に二万五千六百円を計上いたしました。三教の公営企業および財産収入では二十万を計上いたしました。これが、これが所収であります。土地建物の売却代金でござります。

オ主税の国庫からの支出金二十六万二千三百六十円を計上いたしました。このうち失業対策事業費補助金として十七万九千九百九十九円は失業対策人夫の夏季手当の三分の二を計上いたしましたものとござります。

なお、教育費補助金は四万一千八百六十九円を計上いたしました。これは、学費や体費、児童教科書購入費として、小学生が百七十五人、中学生が七十二人、対象になりまして、これに対して十三万三千六十九円の補助が



ござりましたので計上いたしたものでござります。それから委託金  
 とては選挙事務特別委託金として国から五万円の委託金が  
 ござりましたので今回財産として計上いたしました。県の支出金の  
 一万二千八百二十五円はやはり失業人夫に対する夏季手当の費の  
 補助金でござります。それから寄付金は三十万計上してございま  
 す。これは那市の小学校の講堂を改造するにござります。八  
 万円の経費のうち三十万円を地元PTAから寄付申立がござい  
 ましたので計上いたしました。オハ穀の繰越金の財産として  
 三百九万五千二百七十円を計上いたしました。三十年度の繰越金は  
 二千五百七十四千二百七十四円を計上いたしました。いままで追加財産と  
 しまして一千七百九十六万八千を計上いたしましたので今回の三百九万五  
 千円余で全部三十年度の繰越金は予算に計上済みでございま  
 した。一銭も残っていないということになります。

。地書課長代理（小倉澄男君）特別会計の国民健康保険と公益



會屋の二つを一箇に御説明申上ります。

このやはり赤字改正によります人件費のみの追加でございます。この入金は両方とも前年度繰越金を充てたものでございます。

○三番一伊勢山三助君、教育費の学校修繕費の問題ですが、前回の議案でいろいろもつねたんですが、那箇小学校に二十万円の講堂修理費の追加費用が出ておりますが、形勢の小学校の肩下、これも当然やつもらわなくてはならないことであります。

さらに私たち文教委員として考えますのは、富崎の小学校の講堂が非常に老朽で、西岬、東山も悪い。館山も修繕しなくてはなりません。こういうふうな状態でありますのは委員会としてはこれに対してどのような考え方を持っておりますか。また仮に那箇小学校のみに一定の額を割きましたら、それに対する何人セツトのものは市がかならず予算を組んでやるというふうな、将来にわたっていついつの条件で予算を組むかを考へて入るかどうか、この二大にわたって委員の会にはお尋ねいたします。



。教養部長（工藤和平君）は答へていれます。学校の校舎の増改築これ  
は文部省の是めました。指定してありますところの危険校舎をこの  
危険度によつて一応年別計画、年次計画を描いてゐるヤリであり  
まゝとしかして予算のほらみ合せをよくあ察してしまつて逐次予算  
の計す範囲にありて実施して介きたり。どういふふうは考へてあり  
ます。なおお話の岡崎の講堂は危険度が非常に高つていふことは  
文部省でも指定してありますので普通教養部のもとに予算の計  
す範囲でこれを実施したいと考へてあります。

○三番一伊勢仙之助君（もつ一夫）も、那まの例で地元からいふば人の  
罪付もいまだらとねに對して予算の算付けも一へんあるかといふ問題  
についてどういふかを尋ねたいんですが、私の所司の所司のあかれませんか。  
。市長（田村利男君）との大市長からお答へていれます。

講堂の件だと思ひますが、どういふんですかと呼ぶ者あり（なるべく希望は  
係りたいと思ひます。しかし金がないことにはどうにもなりませんので



当初予算あるいは四月、五月は幾いかにまだ余裕のあるうちでござるが、  
るが、御要望に添ひたいと。なくなつてしまつて、金を十萬圓めたからやれ  
といふことをきかせるので、どういふ場合に予算編成時、あるいは金の余裕  
のあるときだつたらうか、どういふ御要望に添ひたいと思ひますかといひます。  
である。どういふのは他の事業と勘定しないまいかといふ事だといひます。  
○三番（伊藤仙三助君）どういふことかといふことは、財政上の問題といふこと  
もありましようが、新聞などをみますと、教育委員会のものになつて  
議員その他からいふ政治的な圧力を加えて困るといふふうなことを  
いふやうなことはあります。どういふような結果になつていふふうな  
予算が編まれるのかといふふうな一応誤解を避けたいのですが、更  
深にどういふことはおはなりたいと思ひますが、教育委員とて議会の  
議員といふのは議員の力にいつて申す方がよいのですが、やれやれの同僚  
の議員から我々を金に對して無理を、といふやうな自分の立場をいふやうな  
に議會に取つてくるが、それとも、我々を押しつけて予算を無理やり



妨害して教育委員会の本来の考へ方と全然違つた方向に予算を  
とつたといふ懸念があります。もしこの大目について委員会の現在  
まどきでありました、更にはある程度大目にしてどの程度であるかあつ  
てと承り取りと思つてます。

○教育委員 藤和子 君（お答へにいたします。私が就任して十カ月で  
ございますがその間にあり議員の皆さんからいふゆゑ横車を押されて  
予算の粗看をしたとか、あるいは非常に他を圧迫して詰りあつたよ  
うに有利に持つて介つたといふことはございません。あくまでもわたわれ  
の議決されたその事項を実行にあつて忠実に介つていまいとみよつ  
た気持ちを持つておりますので現状まどきございません。

○三番 伊勢 仙三 君（さういたしますと、答へが、教育委員の  
中へ出ておられます。そんな簡単なことではございません。解決して  
いふことがございますか。

○教育委員 藤和子 君（さういふことは、



の三十一番（教生田七郎君）那方の講堂の問題は私はよくしまがらかに  
知つてゐるのでありまして、草案に賛成するものであります。が、ただ一言  
市長さんにお伺ひしたいことは先ほど市長さんの御答弁のなかには予算の  
あるうちならば行つて、これを換言いたしますれば、早いものでござり  
勝ち、いさゝくも教育の予算を公平に使うといふことからいって三つした考  
え方は是正するのがしかるべきにやなりかと思つたのであります。

そこで市長さんにお伺ひしたいことは、従来の方針として教育の問題につ  
いて講堂とか図書館のようなものは地元で半分出して予算措置をと  
つてきたように思ふ。これは従来のひとつ通じた市の財政からいふなら  
暫定措置として止むを得ないと思つておられますが、半撥る理という  
ことに鉄則がもたれていふのが、不文律で決つておつた、しかし館の半額を  
のこるときは校舎の一部を地元で負担させてかなり冷酷な苛酷な処置を  
とつてきた、地元は市の財政上止むを得ないと涙をのんで之を承けてある  
んですが、いさゝくも教育施設である以上校舎、講堂、図書館等はは



なほ、ごく區別なりで市の財政の許す範圍において、いかに分擔し  
 勝手と云ふことのなき、いかにあるべきも、半分のありて、いかに優先的  
 にあると、地元の経済の地が、いかにあるべき、いかにあるべき、といふ  
 來の方針はこの際、是正して、いかにあるべき、いかにあるべき、といふ  
 すが、その点につきましては市長さんと教育長さんのお考えを、いかに  
 取り取りと思ひます。

○市長 一田 村 利 男 君（田中の問題かと思ひますが、田中の問題は、たしかに、まの  
 校舎は無理に、いづつてもよかつたのは、幸ひ、交付金か、なんか、いかにあると、いかに  
 と、これには、餘野地区の希望する、三教室か、旧教室の、いかにあるから、いかにある  
 を出す、いかにある、いかにある、いかにある、いかにある、いかにある、いかにある、いかにある、  
 出、いかにある、いかにある、いかにある、いかにある、いかにある、いかにある、いかにある、  
 といひます。このように、一甲と、那古、いかにある、いかにある、いかにある、いかにある、  
 は、決して、あの三教室を建てる必要は、なかつた、いかにある、いかにある、いかにある、  
 三、四月、いかにある、いかにある、いかにある、いかにある、いかにある、いかにある、いかにある、



かゝるPTAで三十万円おしますかとあまで必要は教室の金の金を  
出せといった感じではございません。

それから講堂の問題でございますが、半額負担といふような鉄則は手  
りてございませぬ。北条小学校の問題は大体北条、館山、公民館といふも  
のがなり、館山の講堂もしておりあります。大体館山市で行います  
公民館的会場は二つと北条小学校の講堂でありまますので、本当  
は全額くうい市で持ちなかりつけなるところを半額おしていただきた  
やけでございます。いまの情勢をまといまへては半額以上おしこもら  
むといふのが市長の本音でございます。以上でございます。

〇三上第一教生岡七郎君（市長さんの御答へはなんといたしますが、市の理  
事者として悪い言葉でいふと、御都合主義いやなりかと思つてございま  
して早いもの勝ち、今捕り勝手の悪い観念はあつてもございまい。  
それから必要でなかつた、地元が負担したためにつつた、とんでもない  
考え違ひだ、いやしくも教育施設を必要とするものといふ、この父母の



なりものをつつたててのことでは……

○年長一田村利田君（この方大必要のなりてのことでは取消しますか）  
 富田教育と増築の必要のない校舎をもちたことは事実でございます。  
 それからもうひとつ申し上げます。分捕主義、財政あり次第という言。葉  
 がまつく御首にたよりござりますが、私は先ほで各方面を勘案しまして  
 といつて葉に力を入れて申し上げます。たので親邦の言。葉は軽ん……  
 ○ニ十一番（教生田七郎君）教育長としてはこの御上意度の問題と地元にお  
 すなわち地元の財政に弾力性があれば早くござるということ、周知性ござる  
 お考えになっておりますか。

○教育長（上藤和平君）お答をいたします。先ほどの御質問は……  
 も教育に關する建築物の建築にまづきは普通通致といたします。建築費  
 といわず、図書費といわず、必要なる度には……これをやると……いふ御  
 思の……と……ござりますか。それは私も……同感でございます。  
 同様に……は……に伴う……であらうと思つてござります。











お伺ひしなり

の教員長（工藤和平君）お答へいたします。校舎の改築案については賛成不  
いふことにてまゝしては普通通教室をまづカ一に考へていふことはたがた  
い甲上ざる通りであります。その計画によりますと、年間計画なる  
かに年次計画はよくてまだ二カ年ぐうしかかる見通しでございます  
す。なあまりの間にいろいろお訪のありました。すくなくも危険を感じる  
といふような講堂その他に対する補修はいづれともやうにやなうめと  
思いますが、その他の小破修理も併行してやうて行きたいと、年次計  
画、年間計画は樹つていふわけでございます。

三十一番一巻 田 繁 君（とんづは講堂としてとらう） 良陳性のあるもの  
のかならずとては東釋せうなりでやるといつか考へがあのわづづ  
とんづはすか

○教育長（工藤和手君）さまへお送りします。（）で削り出した紙が着あ



三十二番（望月 暉作君）オ入の地方交付税の問題でひとつだけ伺ひします。いつも追加予算のときには地方交付税が出来ますが、これは大体どのくらい交付される見通しがあるか。もうひとつ現在まで交付された額を教えてもらいたいと思う。

○総務課長一見 貴君）お答えいたします。交付税が大体いくらはなるかということは現在のところではわかりません、そして大体概算決定の参りますのが八月の終りあたりになりますので八月になります。ほぼ推定がそのでございます。

それからいままで三十二年で交付されましたものは一十三百万円でございます。この関係からしますと、これが大体四回くるわけでございますので五千二百万くらいあるんじゃないかと予想あります。決定にはならないとわかりません。おそろくこんな感じでいえないだろうと思います。

○三十四番（飯田義男君）先ほど教育長さんからお話がありました。府県地方教育会の年次修理ならびに改築計画がありということ



でございますが、まよひでなつて結構でございます。なるべく早急  
にその年次計画、どのようなやうな方針でいふことと、どの程度に思  
ひかという月収を御発表のかりたいと思ひます。

○發育長（上藤知平君）他日発表したのでないと思います。

の議事（を）開き、この際お諮りいたします。定例時間となりますので、審議の終了です。まづ、時刻を過ぎますことに御異議ございませんか。

(異議なし) 予が考へて

。海軍の井澤君（御異議なしと認めます。）よつて時間を延  
長するに可い方あります。

〇十二番一黒川匠太郎君（道路、学校その他富造物）これは市の所有で  
 ある以上当然市独自の予算でまかなうべき性質のものだと思  
 います。ところで従来市が財政の都合によつて受養費を負担してい  
 ることがなつてゐたのであります。市の財政が大幅期なくなつたと



いろいろの事情やうなものは決して今、發市で買物にしようとは思はせぬ  
 ので元來物で漸減してもいいかならぬ。その卒を漸減するかする  
 の時かとはなないが、まあさうするところが大方市民の正しい考えでも  
 あると思ひますが、市長はいろいろお考えを待たせようとするので  
 せうか、このこともさうするのを希望するものではないか、その  
 ことについていろいろお考えを待たせようとするので、

〇三十一日(日) 午後(時) 海軍の見識について、そのこと、そのこと、  
 まして、そのこと、そのこと、そのこと、そのこと、そのこと、そのこと、  
 いろいろの事情やうなものは決して今、發市で買物にしようとは思はせぬ  
 ので元來物で漸減してもいいかならぬ。その卒を漸減するかする  
 の時かとはなないが、まあさうするところが大方市民の正しい考えでも  
 あると思ひますが、市長はいろいろお考えを待たせようとするので、

〇三十一日(日) 午後(時) 海軍の見識について、そのこと、そのこと、  
 まして、そのこと、そのこと、そのこと、そのこと、そのこと、そのこと、  
 いろいろの事情やうなものは決して今、發市で買物にしようとは思はせぬ  
 ので元來物で漸減してもいいかならぬ。その卒を漸減するかする  
 の時かとはなないが、まあさうするところが大方市民の正しい考えでも  
 あると思ひますが、市長はいろいろお考えを待たせようとするので、



改修方にはお断りなさいといふことに入らざるを以てお断りになります。

議長「さうです。議長（たんに議事を進めたいといふものがある）の意向が  
ありますので、そこで議案に即した會社の別があるといふ事をわかりたい  
と思ふので、

議案の進め方をいふ。

（「議案の進め方」といふことがあつた）

議長「さうです。議長（たんに議事を進めたいといふものがある）の意向が  
ありますので、そこで議案に即した會社の別があるといふ事をわかりたい  
と思ふので、

議長「さうです。議長（たんに議事を進めたいといふものがある）の意向が  
ありますので、そこで議案に即した會社の別があるといふ事をわかりたい  
と思ふので、

午後五時五十分の會社

昭和三十三年七月二十一日

館山市議會議長

石井 潔



全錄錄錄錄錄

同

飯中我  
後歸中





